

ユーザ削除オプションの追加（p4 user -Dコマンド）

説明

Perforce Helix Core 2019.1より、"p4 user -D"コマンドを使用して、以下の情報がまとめて削除できるようになりました

- ・ユーザ情報
- ・チェックアウトしているファイルの情報(編集情報は元に戻される)
- ・プロテクションテーブル "-F" ※1
- ・ワークスペース ※2



注意

- ・エッジサーバでは"-D"オプションは使用できません。
- ・Helix Swarmクライアントワークスペースは削除されません。

※1 "-F"を使用することでプロテクションテーブルとグループから対象ユーザが削除されます。ユーザが削除されることによってグループメンバがいなくなる(=所属0になる)場合、失敗します。事前に該当グループを削除してください。

※2 削除対象以外のユーザによって作業状態にされたファイルが存在するワークスペースは削除されません。強制的に削除する場合は"-f"を合わせて使用します。



参照ページ

- ・「Helix Core P4コマンドリファレンス (2019.1)」 - p4 user

手順

1. 削除内容の確認

必要に応じていずれかのコマンドを実行します。

※-Dオプションのみの場合はプレビューとなるため、実際の削除は行われません

実行コマンド例

```
p4 user -D username
p4 user -D -F username : プロテクションテーブルとグループからも削除
p4 user -D -f username : 作業状態のファイルを含むワークスペースも削除
```

削除対象、処理確認メッセージが表示されますので、内容を確認します。

2. 削除実行

手順1のコマンドに"-y"オプションを追加して削除を実行します。



"-y"オプションを追加してコマンドを実行した結果は元に戻せません。

実行コマンド例

```
p4 user -D -y username
p4 user -D -F -y username
p4 user -D -f -y username
```

削除完了メッセージ

```
Deletion of user username and all the user's clients initiated.
User username deleted.
```

失敗したメッセージ：グループの削除が必要な場合

```
User username is the last member of group groupname and cannot be deleted.
Delete the group via 'p4 gropu -d -F groupname, then try again.
```